

## 初級 UNIT 8 命令文

命令文にはいくつかの種類があります。「~なさい」や「~するな」だけでなく「~してください」や「~しましょう」も命令文のなかまです。そしてすべての命令文に共通しているのは主語がないことです。

~なさい

動詞の原形が文頭になる。

Open the window. 窓を開けなさい。

**be** 動詞の場合は原形 **Be** になる。

Be careful. 気をつけなさい。

Be a good student. 良い生徒になりなさい。

---

~するな(否定の命令)

**Don't** を文頭につけて **Don't +動詞の原形** の形になる。

Don't swim in this river. この川で泳ぐな。

**be** 動詞の文でも **Don't** を使う。

Don't be late for school. 学校に遅れるな。

---

~してください(依頼)

**Please** を文頭につけて **Please+ 動詞の原形** の形になる。

※please を文末につけることもある。

Please close the door. ドアを閉めてください。

Show me your notebook, please. あなたのノートを見せてください

~しましょう(勧誘)

文頭に **Let's** をつけて、**Let's+動詞の原形** の形になる。

Let's play tennis. テニスをやりましょう。

1. 日本文と同じ意味になるように( ) に適切な単語を入れなさい。

(1) 夕食の後に英語を勉強しなさい。

(        ) English after dinner.

(2) ドアを開けてください。

(        )(        ) the door.

(3) この公園の中では野球をしてはいけません。

(        )(        ) baseball in this park.

(4) テレビを見ましょう。

(        )(        ) TV.

(5) 良い生徒になりなさい。

(        ) a good student.

2. 日本語と同じ意味になるようにカッコ内の単語を並べ替えなさい。

(1) 私の部屋で音楽を聞きましょう。(music, listen, to, let's, in my room).

(2) ケン、ここでギターをひくな。Ken, (the guitar, don't, here, play).

**正解1**、(1) Study (2) Please open (3) Don't play (4) Let's watch (5) Be

**2.**(1) Let's listen to music in my room. (2) Ken, don't play the guitar here.